

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年 1月 18日

事業所名：みらいポケットにしわき

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	個別課題、集団活動に応じて、スペースを使い分けています。	「利用者や活動によって必要なスペースが変動するので評価しにくい」	活動内容に応じた使い分けに際しては、安全を最優先にプログラムづくりに努めます。
	2	職員の適切な配置	必要人員数以上、かつ有資格者を配置しています。	「観察・支援してもらっている」	より専門的な職員研修を重ね、さらなる資質の向上に努めます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	文字、イラストを使って構造化することで過ごしやすい空間づくりに努めています。	「問題ない、安心である」「利用の日によるが、スタッフの増員をお願いしたい」	個々の特性に配慮して常に改善に努めます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	活動に応じて使える部屋を確保しています。日々清掃しています。	「明るく感じる」「心地よい」「下階の病院について心配」	診療所との併設であり、今後とも理解を得ながら環境向上に努めます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	モニタリングだけでなく、定例ケース会議(内部)を定期的に行っています。	/	日々の気付きを大切に機会をとらえた改善に努めます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在実施していません。	/	今後、導入を検討します。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	人材としての育成面から専門的研修はもちろん、日々の課題やニーズに対応した研修を確保しています。	/	内部、外部の研修を機会に資質向上に努めます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者とのモニタリング、ケース会議をふまえて計画を作成しています。	評価なし	定期的にモニタリング、ケース会議を行うことで計画の見直しを行い、修正、継続をしていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者とのモニタリング、ケース会議をふまえて計画作成し、具体的目標に対応した活動を実施しています。		適時計画の見直しを行うことで、子どもの状況に対応します。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者とのモニタリング、ケース会議をふまえて計画作成し、具体的目標に対応した活動を実施しています。		今後とも児童発達計画や放課後等デイサービス計画を基に支援内容の記載を行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	利用者それぞれについて、短期、中期、長期計画の各々に対応して具体的な目標と方針を決定し、適時評価しています。	「よく考えてある」	適時モニタリングを行い見直していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	複数の職員が話し合い、活動プログラムを立案しています。	評価なし	より多くの職員がプログラムの立案に関わるようにし、専門家、保護者に評価してもらうようにします。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休みにしかできない、施設外活動を実施するなど、工夫をしています。		今後、地域資源を活用し、活動を工夫していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	時期や季節、利用者に合わせた活動プログラムを実施しています。		さらに個々に応じて多彩な活動プログラムが提供できるように、研修などに参加します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	固定化することないように、活動の担当を決めています。		その日の活動や利用者に応じ、安心して過ごせる環境づくりのため、その都度確認していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	適時、気付いた点があれば職員間で情報共有をしています。必要に応じて、職員間連絡ファイルにて記録、情報共有しています。	その日の支援についての振り返りを行い、適時ケース会議を開いていきます。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々、業務日誌だけでなく利用者個別にその日の記録を残しています。	日々の記録を確認しながら、支援の内容の振り返りと改善に努めます。	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度以上、モニタリングを実施し、それに伴い児童発達支援計画、放課後デイサービス計画を見直しをしています。	今後も定期的なモニタリング、計画の見直しを行っていきます。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	子どもの状況、支援計画に精通した職員がサービス担当者会議へ参加しています。		継続して子どもの状況、支援計画に精通した職員の会議への参画を継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	受入実績はありません。		今後受入できるよう体制づくりに努めます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	受入実績はありません。		今後受入できるよう体制づくりに努めます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて合同ケース会議などを実施し、他の事業者との情報共有を行っています。		今後も学校、園との間で支援内容などの情報共有を行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	まだ対象となる利用者がいません。		今後卒業後の移行支援のための体制づくりに努めます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携を始めています。		今後計画的に連携や研修の受講を行っていきます。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在はありません。	「利用を始めたばかりで分からない」	地域の子どもたちとの交流の機会に努めます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	併設する病院、デイサービスの利用者との交流を行っています。	評価なし	今後さらに機会を設けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用にあたり、パンフレットの配布と支援の内容について説明を行っています。	「説明を受けている」	今後も、利用開始時に支援の内容や利用者の負担について分かりやすい説明を実施していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援開始時だけでなく、モニタリング時にも計画を確認しながら支援内容の説明や評価について説明しています。	「直接話ができている」	今後も継続して丁寧な説明を行います。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	専門家による心理相談の実施や、事業所での効果的な取り組みなど、ご家族と情報共有しています。	「1年目でよくわかっていない」	家族支援のプログラム開催を検討したいと思います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	口頭、連絡カードにおいて子どもの状況について情報のやりとりを行っています。	「口頭や連絡帳でのやり取りによって出来ている」	引き続き共通理解の促進に努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	専門家による心理相談の実施や、連絡帳、口頭で必要に応じて行っています。	「1年目でよく分かっていない」	面談等のさらなる機会の設定を検討します。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会活動はありません。	「1年目でよく分かっておらず、参加できていない」	今後、保護者会などの開催を検討します。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	利用者や保護者の方から苦情を聞いた場合は早急な事実確認を行い、対応しています。	「今まで問題なく安心して過ごせているため分からない。」	苦情窓口の周知徹底を図っていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	口頭、連絡帳、図示、イラストを交えての意思疎通をしています。他に電子メールや文書でのやりとりも行っています。	評価なし	個々に応じた情報伝達方法を検討していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	郵送の他、ホームページにおいて行事予定等を掲載しています。	「ホームページをなかなか見ない」	ホームページの更なる活用や周知を図ります。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人が特定されるリスクのある書類については、施錠できる場所、パスワードロックをかけたコンピュータで管理するなど、細心の注意を払っています。	「配慮してあると思う」	今後も細心の注意を払って個人情報の扱いを行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを策定しています。	評価なし	それぞれのマニュアルの周知を行います。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	実施しています。	評価なし	防火訓練以外にも、地震や風水害についても訓練を行っていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止の内容を含む研修を受講しています。		継続的な研修の機会を設け、内容を充実させていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在対象はありません。		今後身体拘束を行うことが必要になった場合の対応について確認していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者の利用申請時の際に食物アレルギーの有無を確認し、対応しています。		見落としや記入漏れが無いように、定期的に確認を行っていきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例の報告書の作成を行っています。		事例報告のさらなる蓄積を行い、情報共有し、再発防止に努めます。